

「私」から「亡くなったおじいちゃん」へ

特別
審査委員賞

OBENTO KOSHUEN

たった一つの弁当

五島 央稀さん 神奈川県・湘南学院高等学校2年



献立

- ご飯
- 鶏の照り焼き
- ウインナーとグリーンアスパラガスの炒めもの
- 野菜の煮つけ
- 卵焼き

コンセプト

僕の大好きなおじいちゃんは昨年八月、老衰のため市内の病院で息を引き取りました。入院してからはご飯を食べることもできず、辛い日々を送っていたことを今でも鮮明に覚えています。なので僕は今回、おじいちゃんが大好きだった献立でこのお弁当を作りました。献立一つ一つに忘れることのない大切な思い出があり、とても懐かしく感じています。天国にいるおじいちゃんがこのお弁当を通じてかけがえのない日々を思い出し、幸せで満たされること。そして、生まれ変わって歩んでいく人生が順風満帆になることを心から願い、「たった一つの弁当」を贈呈したいと思います。